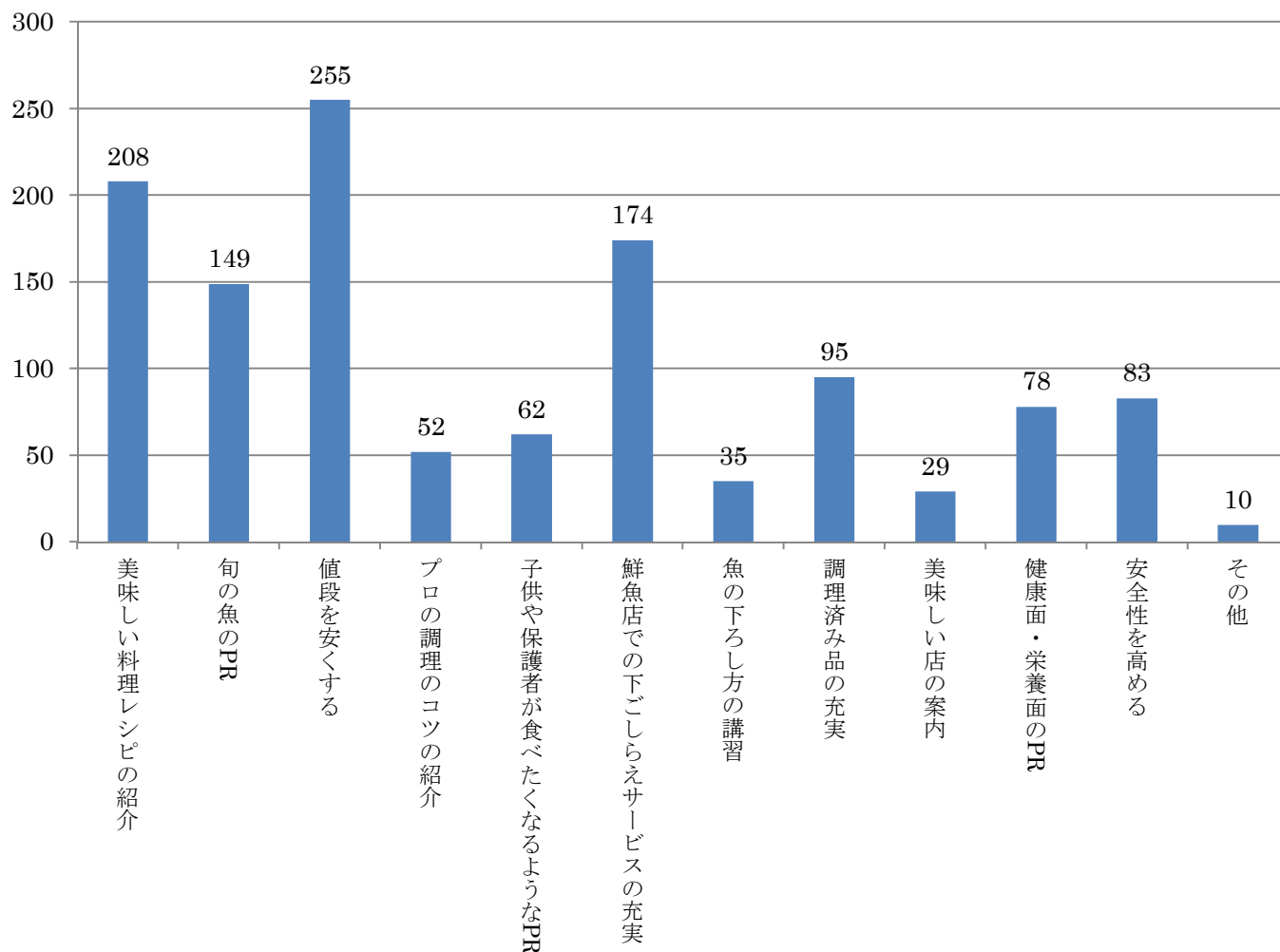


14. あなたが、現在より多くの魚を食べるためには、今後、市場や鮮魚店などで、どのような取り組みを行えばよいとお考えですか？ [N=482]



	20～30歳代	40～50歳代	60歳代以上
1位	値段を安くする	値段を安くする	値段を安くする
2位	美味しい料理レシピの紹介	美味しい料理レシピの紹介	旬の魚のPR
3位	鮮魚店での下ごしらえサービスの充実	鮮魚店での下ごしらえサービスの充実	美味しい料理レシピの紹介
4位	子供や保護者が食べたくなくなるようなPR	旬の魚のPR	鮮魚店での下ごしらえサービスの充実
5位	調理済み品の充実	調理済み品の充実	安全性を高める

【設問別の傾向】

全世代に共通して、「値段」に対する取り組みや美味しいレシピの紹介等に期待している。

また、20～30代の子育て世代では、子供や保護者に対するPRを求めていることが見て取れる。

前述のとおり、「魚をもっと食べさせたい」という気持ちはあるものの20～30代の子育て世代で魚を食べる量が減った理由に「後片付けが面倒」「料理の仕方が分からない」が多く挙げられているように簡単にできる調理方法や調理済みのパック開発などの取り組みを行い、PRすることで魚食普及に期待ができる。